

難聴者用ヒアリングループ(磁気ループ)

誰もが聴こえるやさしい街づくりが 笑顔の未来につながります。

現在、難聴者は軽度の方も含めると全国で600万人いると言われています。
 高齢化社会が進むにつれ、ますます増加が予想される中で難聴者へのケアはきわめて重要な課題となってきました。
 難聴者は外見ではわかりづらい上、声をかけても気づかないため、会話が滞りやすく出無精になりがちです。
 地域社会へ参加したくても困難なことが多く、参加できないのが実情です。
 補聴器を使用することで解決するのでは?と思われがちですが、
 無選別あらゆる音が聞こえてくるので、むしろ聞き分けが困難で大変疲れてしまうのが現状です。
 特に広い場所やホール、会議室、教室、劇場、体育館などで音声を正確に聞き取ることは非常に困難です。
 そこで補聴器のこうした限界をカバーするために生まれたのが【ヒアリングループ(磁気ループ)】です。
 これは、マイクの音を電気信号に変えて送ると、電線の中で磁力が生まれ、
 この磁力を補聴器で感知することで、聞こえる「音声」にするシステムです。
 このシステムは周りの雑音がほとんど聞こえず、目的の音を正確に聞き取ることができます。
 欧米では集団補聴システムはすでに常識化されていますが、
 日本の場合はまだ設備されているところが限られているのが現状です。
 集団補聴システムの広がり、高齢者や難聴者のバリアフリーとなり、
 積極的に社会参加できる笑顔の未来社会につながります。

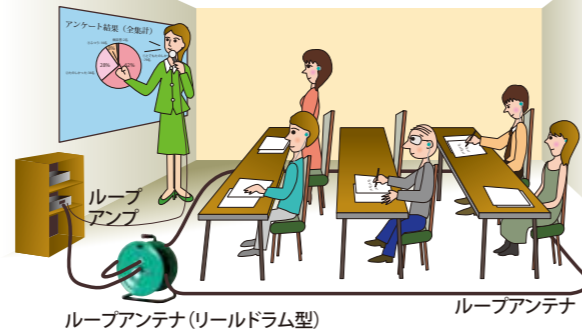
設置型磁気ループシステム HSR-120N



大型施設で。

広い場所、たとえば、教室、視聴覚室、会議室、ホール、スタジアム、劇場、体育館、博物館などの公共施設では、常にざわざわとした様々な音があふれています。補聴器は、それらの音をすべて拾い上げ、無選別で耳に届けます。音声だけを正確に聞き取ることは大変困難です。欧米ではすでに多くの場所で設置済みですが、床下にヒアリングループ(磁気ループ)システムを常時設置しておくことで、この問題は解決します。様々な施設でのバリアフリーが実現すれば、高齢者や難聴者も安心して社会へ参加することができるようになります。

携帯型磁気ループシステム HS-60



講演や説明会など。

可搬型のループアンテナが必要な場所をぐるりと囲めば、簡単に磁気ループエリアの誕生です。難聴者は、正確に聞き取れないことで敬遠してきた講演や説明会、会議などへも、積極的に参加できるようになります。持ち運びに便利なアタッチケース型。あっという間に、バリアフリーの空間が出来上がります。

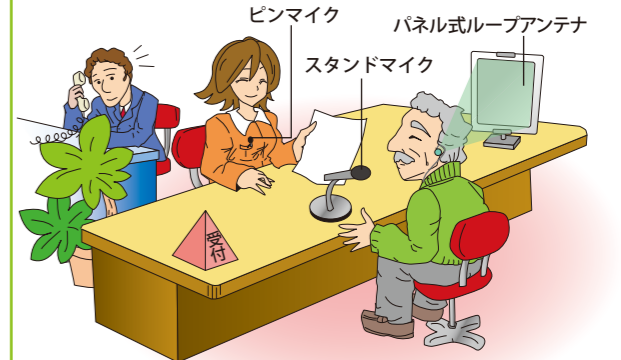
小型磁気ループシステム HS-10C



少人数の会議で。

少人数の会議では、小型磁気ループシステムを設置することで、磁気ループエリアを簡単に作り出すことができます。必要なエリアをループアンテナで囲み、その中に磁力を発生させる、ただそれだけで難聴者にとって不安のない快適な会議となります。重要な情報を正確に聞き取ることで、発言への自信が生まれ、積極的に参加することが可能になります。

カウンター型磁気ループシステム HS-10S



カウンターで。

官公庁や金融機関、病院、郵便局、旅行代理店などのざわざわしたカウンターでは、正確に聞き取りができず、お互いにとっても不安になってしまいます。あいまいなやり取りをなくし、不安を解消し、大切な手続きや説明を正確に行えるよう、カウンター型ループシステムの設置が有効です。

車載用補聴器誘導システム



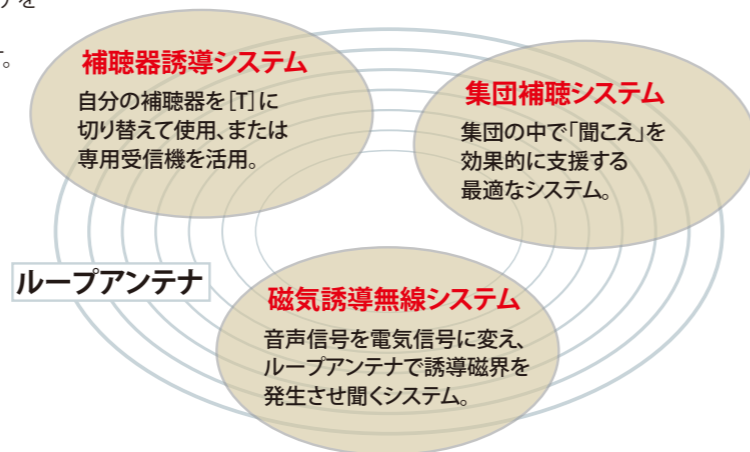
バスや電車、タクシーの中で。

高齢者や車椅子の方に配慮したバリアフリーの低床バスのように、難聴者へ配慮した磁気ループ設備搭載車が重要とされています。外見から判断できない難聴者は、たとえば事故やトラブルが起きた際、適切な誘導が伝わらないため不安になるばかりか、第2次災害に巻き込まれてしまう可能性が大きくなります。また、タクシーでは、運転手とのコミュニケーションも正確にでき、トラブル回避になります。

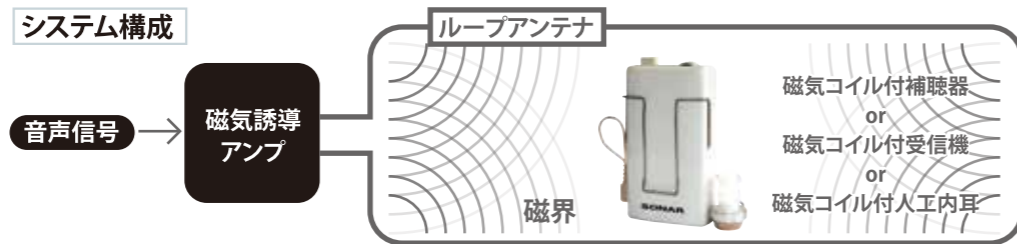
ヒアリンググループ (磁気ループ) とは?

難聴者の“聞こえ”をサポートします。

ヒアリンググループ(磁気ループ)とは、難聴者の聞こえを支援する設備で、ループアンテナ内で誘導磁界を発生させることで、音声磁場を作ります。磁界を発生させるループアンテナを輪のように這わせることから、「磁気ループ」と呼ばれています。



音声信号を磁気誘導アンプを通し、床等に敷設したループアンテナ(多芯ケーブル)や床にはわせたワイヤーに電気信号として送ります。ループアンテナ内で誘導磁界が発生し音声磁場ができるので、磁気コイル付補聴器、人工内耳(“T”マーク)で音声信号として聞くことができます。



- 周りの騒音・雑音に邪魔されずに、目的の音・声だけを正確に聴き取ることができます。
- ご自分の補聴器、人工内耳を“T”マークに切り替えるだけで、音声を聞くことができます。
- 受付カウンターなど小さいエリアから大ホールやスタジアム等の大きいエリアまで対応が可能です。
- **ポケット型**
操作がしやすく、話し手の口元に近づけて聞くこともできる。
※「T」マーク切替可(約70%の機種)
- **耳かけ型**
耳の後にかけるタイプで多機種、調整機能があり操作がしやすい。
※「T」マーク切替可(約60%の機種)
- **耳あな型**
使用者の耳形、聴力に合わせる。音源が鼓膜に近いので、効果が得やすい。
※「T」マーク切替不可(一部オプション対応)
- **人工内耳(Tマーク対応)型**



ヒアリンググループ(磁気ループ)内では、雑音があっても補聴器で音声も音楽もハッキリと聞こえます。



難聴者用ヒアリンググループ(磁気ループ)

設置型磁気ループシステム

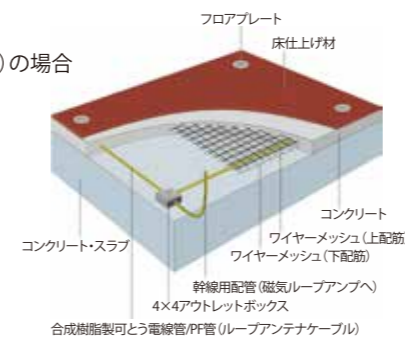
推奨設置環境: 公共施設(ホール、スタジアム、福祉施設、老人ホーム、各種会議室、研修室など)

システム概要

ヒアリンググループ(磁気ループ)は難聴者の聞こえを支援する設備です。難聴者はホールや会館、会議室、議場の傍聴席などで音声を正確に聞き取ることが困難ですが、本システムを利用することにより補聴器(誘導コイル付のもの)または、磁気コイル受信機にて容易に聴取することができるようになります。

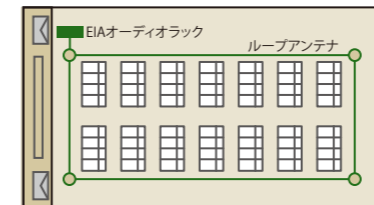
原理として、会場の音響装置より出力された音声信号を磁気ループアンプと床に埋設したループアンテナで誘導磁界を発生させ、難聴者の持っている補聴器(誘導コイル付のもの)または、磁気コイル受信機の誘導コイルに音声信号を誘起させることにより聴取するので、音を正確に聞き取ることが可能になります。

新築(床埋め込み)の場合

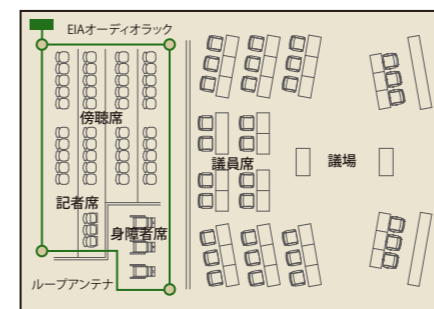


施工例

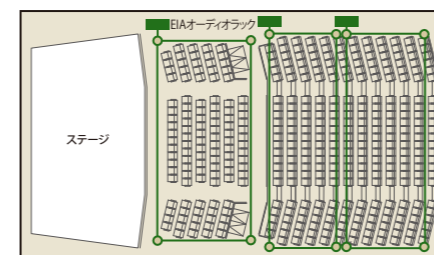
・会館、会議室



・議場の傍聴席



・ホール、会館

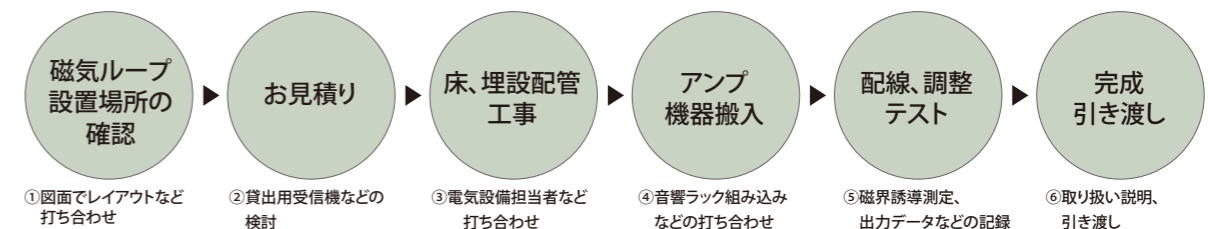


設置型磁気ループアンプ HSR-120Nの仕様

使用電源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	95W(電気用品取締法に基づく)
消費電流	AC4.0A
出力	定格120W
出力負荷インピーダンス	ループ出力インピーダンス
ひずみ率	3%
周波数特性	80Hz~10kHz 偏差 ±3dB (定格出力時-10dB 1kHz基準)
入力感度及びインピーダンス	入力感度切換式 音量調節器付 約-60dBV、-20dBV、0dBV 600Ω 平衡
ライン出力	出力レベル切換式 約-60dBV、-20dBV、0dBV 600Ω 平衡
音質調節	3ポイント式イコライザ 音質調節器付 低(330Hz)・中(1kHz)・高(3.3kHz) 可変範囲±10dB
信号対雑音比	60dB
動作表示	電源表示灯:赤
出力表示	VU計による
使用温度範囲	-10℃~+50℃
外装	パネル(鋼板)マンセルN1.0 ブラック塗装、 ケース(メッキ鋼板)
寸法	幅480mm×高さ132mm×奥行356mm
重量	約8.3kg
付属品	キャノンプラグ3P 2、キャノンプラグ4P 1 M5×15半丸皿ねじ 4、φ5飾りワッシャ 4
適合有線マイク	600Ωマイクロホン全種
適合品	ループアンテナ
用途	本機は、入力感度切換回路を備えた磁気誘導アンプです。 また、ラックマウント仕様になっています。



設置工事のフロー 新築(床埋め込み)の場合



難聴者用ヒアリンググループ(磁気ループ)

携帯型磁気ループシステム HS-60

推奨設置環境: 福祉施設、老人ホーム、各種会議室、研修室など

特徴

- 持ち運びに便利なアタッシュケース型
- 20mループアンテナ付き(リールドラム型)
- 音響設備と接続可能
- ワイヤレスマイク2本まで使用可能(オプション)
- アンプ付きスピーカーとの接続可能(オプション)
- 延長用ループアンテナ20mまたは30mを接続可能(オプション)



ループアンテナ(リールドラム型)

ループアンテナ

HS-60のセット内容



本機



20m可動ドラム式ループアンテナ



有線マイク

磁気ループ専用オプション



・タイピン型ワイヤレスマイク WM-3100



・ハンド型ワイヤレスマイク WM-3000A



・チューナユニットSU3000A



・10Wアンプ付スピーカ ※10mの接続コード

- ・AA-382 ロッド型ワイヤレスアンテナ
- ・ドラム式ループアンテナ(延長専用20m)
- ・ドラム式ループアンテナ(延長専用30m)

磁気ループ専用受信機 SOR-80

【セット内容】本体(1)、イヤホン(1)、耳せん(小、中)各(1)、単3乾電池(1)
機器サイズ:72×43×20mm 重さ:45g



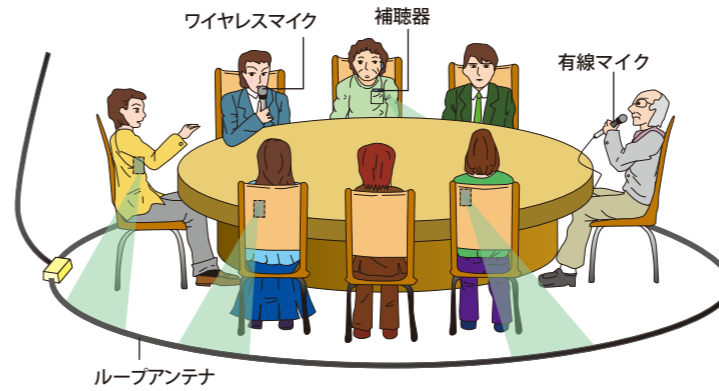
難聴者用ヒアリンググループ(磁気ループ)

小型磁気ループシステム HS-10C

推奨設置環境: 福祉施設、老人ホーム、各種会議室、研修室など

特徴

- 小型・軽量・ワンケースにすべて収納。
- 少人数の会議等に最適。
- ワイヤレスマイク、有線マイクが標準装備。
- 外部入力端子(テレビ、DVD等接続可能)を1系統装備。



ループアンテナ

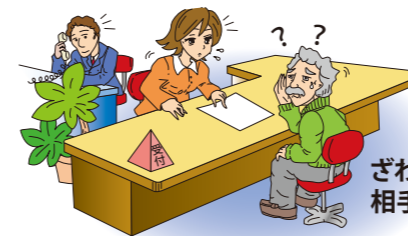
難聴者用ヒアリンググループ(磁気ループ)

カウンター型磁気ループシステム HS-10S

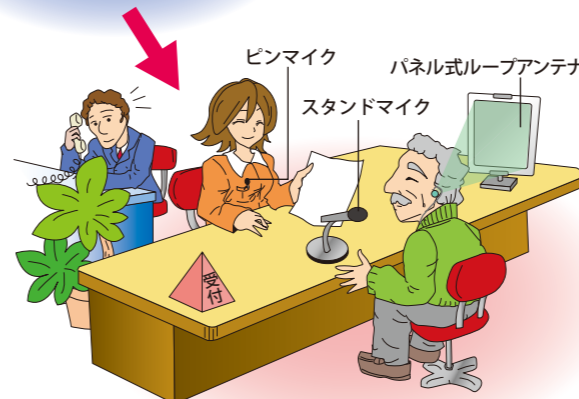
推奨設置環境: 官公庁や金融機関の窓口、旅行代理店、携帯ショップのカウンターなど

特徴

- 聞こえにくい方でもコミュニケーションが取りやすくなり、確実な対応ができます。
- パネル式ループアンテナはコンパクトで軽量
- ワイヤレスマイク、有線マイクが標準装備。
- AC100Vがあれば、どこでも設置できる手軽さ。



ざわついたカウンターで相手の声が聞き取れない!!



クリアに聞こえることで、不安がなくなり、自然に笑顔が生まれます。

HS-10Cセット内容



ループアンテナ(8m)

磁気ループ受信機 SOR-80

小型ループアンプ本体
チューナーユニット組み込み済
HS-10

専用収納ケース

有線マイク

ハンド型ワイヤレスマイク
WM-3000A

HS-10Sセット内容



パネル式ループアンテナ

小型ループアンプ本体
チューナーユニット組み込み済
HS-10

スタンド式有線マイク
FD-13a

タイピン型ワイヤレスマイク
WM-3100

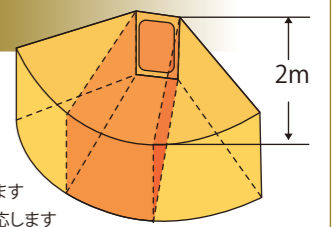
磁気ループ受信機 SOR-80

磁気ループアンプ HS-10の仕様(共通)

使用電源	AC100V 50/60Hz
消費電流	0.4A
定格出力	10W
ループ負荷インピーダンス	ループ出力インピーダンス
ひずみ率	5%以下
周波数特性	200Hz~10kHz 偏差 ±3dB
入力感度及びインピーダンス	マイク -62dBV 600Ω 不平衡 音量調節器付(前面) ライン -22dBV 10kΩ 不平衡 音量調節器付(前面)
信号対雑音比	55dB以上
動作表示	電源表示灯:赤 出力表示:7ポイントLED
使用温度範囲	-10℃~+50℃(ワイヤレスチューナ使用時は0℃~+40℃)
外装	パネル(鋼板) マンセルN1.0 近似色黒半艶 カバー(ビニールラミネート鋼板) マンセルN1.0 近似色黒
寸法	幅203mm×高さ70mm×奥行180mm(突起部を除く)
重量	約2.6kg
付属品	2Pメタコン 1、取扱説明書 1
適合品	ループアンテナ、ワイヤレスチューナーユニット(SU-3000) ワイヤレスアンテナ(AA-382) ワイヤレスマイク(WM-3000AまたはWM-3100)

離れていても
しっかり聞こえます。

「聞こえ」の到達範囲



- やや聞き取りにくい方に対応します
- 非常に聞き取りにくい方にも対応します